## 災害時の畳店プロジェクト tataminoyakusoku.net

5日で 5000枚の 約束。

## 岐阜県岐阜市と協定を結びました



(左より)岐阜市議会議員服部勝弘さん、私、東海地区委員長の國枝さん、岐阜市の細江茂光市長

H28 年 9 月 12 日、岐阜市役所に於きまして、「災害時における畳の提供に関する協定」の調印式が行われ、岐阜市と当店が参加している「5日で5000枚の約束」プロジェクトとの間で協定が締結致しました。

当店は岐阜市役所と目と鼻の先。仲介交渉窓口として何度か市役所に足を運び、協定に至るお手伝いをさせて頂きました。服部市議には二つ返事で当プロジェクトに御賛同を頂き、色々とお力添えを頂きました。勿論起きてはならない災害ですが、万一災害が起きた時、全国470店の畳店の力で「5日以内」に「無償」で「新しい畳」を避難所にお届け致します。

先の熊本地震に於きましては、全国のプロジェクト仲間から 6,680 枚もの新しい畳が避難所に届けられ、被災地の皆様に少しでも心と体を休めて頂けたのではないかと思っております。



挨拶をする細江茂光岐阜市長

怖くなった事を思い出します。

細江市長は幼少期を長良川の畔の金華地区で過ごされました。この地区には今でも数百メートルに亘って全国でも珍しい「畳堤防」が残っています。コンクリート柱に溝が切ってあり、上から畳を挿せるようになっています。水害の時にはその畳が壁になるのです。現在でも国交省の木曽川下流事務所には畳が保管してある等、畳に関する色々な話を細江市長とさせて頂きました。また折しも40年前の9月12日、岐阜市より数キロ下流の安八町に於いて長良川堤防が決壊し、県下に甚大な被害を与えました。私は当時中3でしたが、学校帰りに忠節橋から見た長良川の異常な水位の高さを未だにはっきりと覚えています。興味半分で川を見たつもりが、その光景を見て

そんな 40 年経った同じ日に偶然この協定に至った事は、とても感慨深い思いが致します。





メディアの記者室での質疑もお受けし、翌日の新聞には大きく取り上げて頂きました。



2016.09.13 岐阜新聞朝刊



2016.09.13 中日新聞朝刊